

Webpack ISE 6.3 のインストール方法

1. WebPACK_63_fcfull_i.exe をダブルクリックします。(図 1)

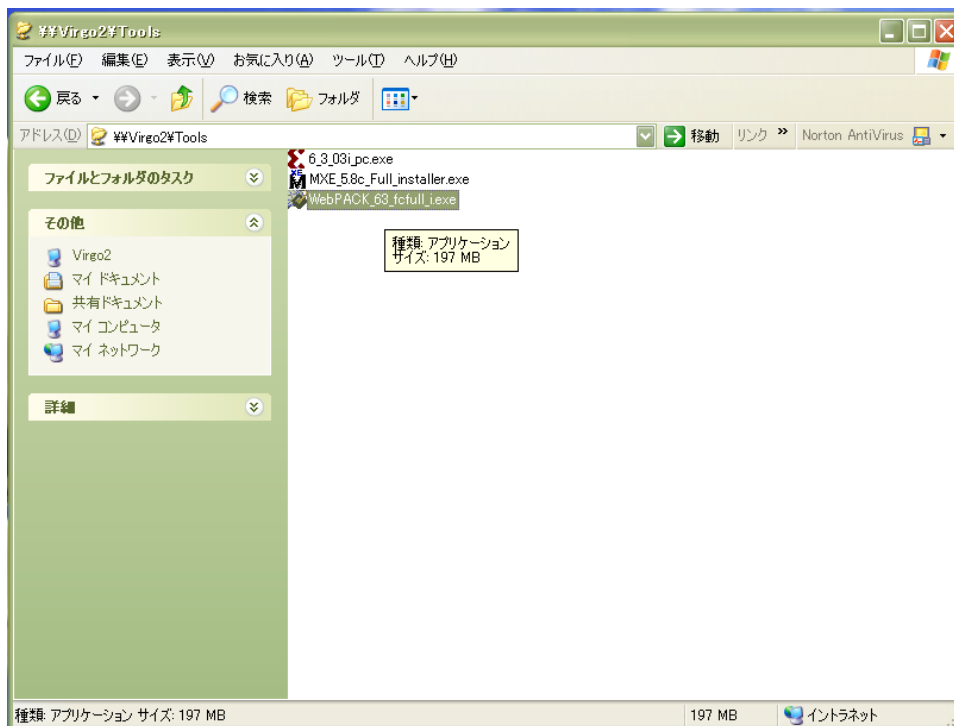


図 1: WebPACK_63_fcfull_i.exe をダブルクリック

2. "WinZip Self-Extractor"ダイアログ(図 2)が開く

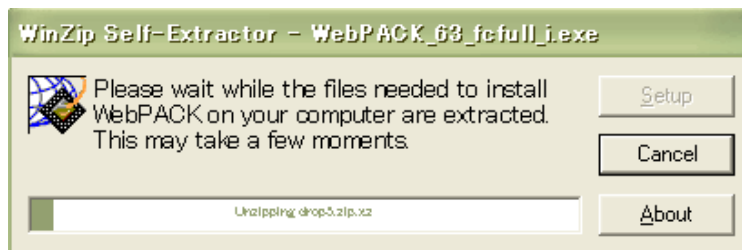


図 2: "WinZip Self-Extractor"ダイアログ

3. "ソフトウェア ライセンスの承諾"ダイアログ(図 3)が開く

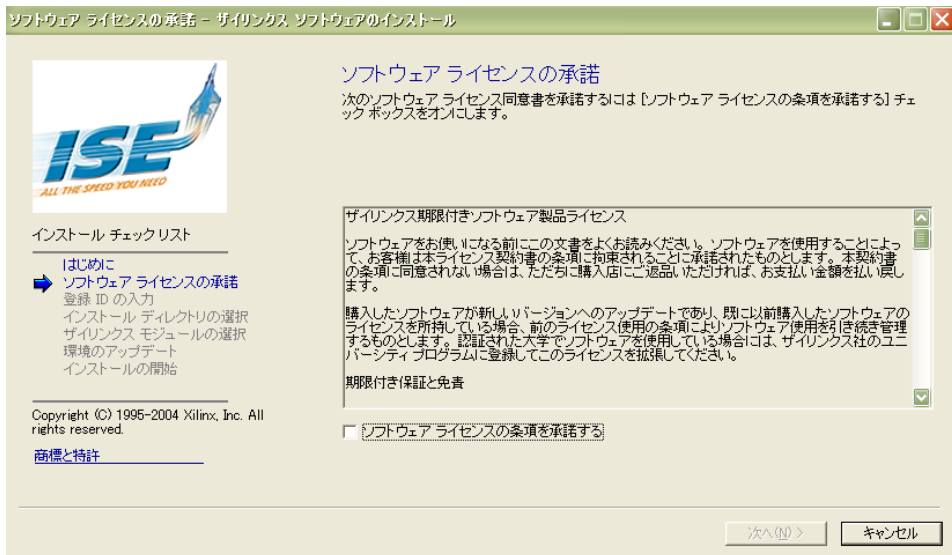


図 3: "ソフトウェア ライセンスの承諾"ダイアログ

4. "ソフトウェア ライセンスの承諾"諾する"の前にあるチェックボックスにチェックを入れると、"次へ(N) >"ボタンが選択できるようになるので、そこをクリックする。(図 4)



図 4: チェックボックスをクリックしたソフトウェア ライセンスの承諾

5. "インストール ディレクトリの選択"ダイアログ(図 5)が開く。ソフトウェアをインストールするディレクトリを選んで、"次へ(N) >"ボタンをクリック。

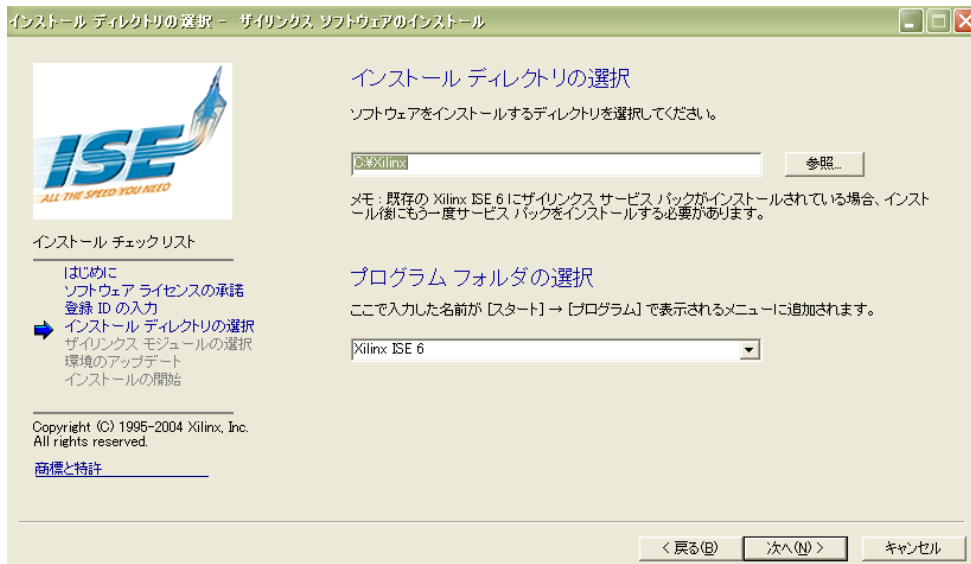


図 5: "インストール ディレクトリの選択"ダイアログ

6. "環境のアップデート"ダイアログ(図 6)が開く。"次へ(N)>"ボタンをクリック。



図 6: "環境のアップデート"ダイアログ

7. "インストールの開始"ダイアログ(図 7)が開く。"インストール"ボタンをクリック。



図 7: "インストールの開始"ダイアログ

8. インストールが開始される。(図 8)



図 8: インストール最中

9. MultiLINX ケーブルドライバの警告(図 9)が表示されるので、“いいえ(N)”ボタンを押す。(MultiLINX とは何だろうと迷う人は迷わず“いいえ(N)”をクリック。もし、MultiLINX ケーブルを持っていて、使用する予定の人は“はい(Y)”ボタンを押す。)

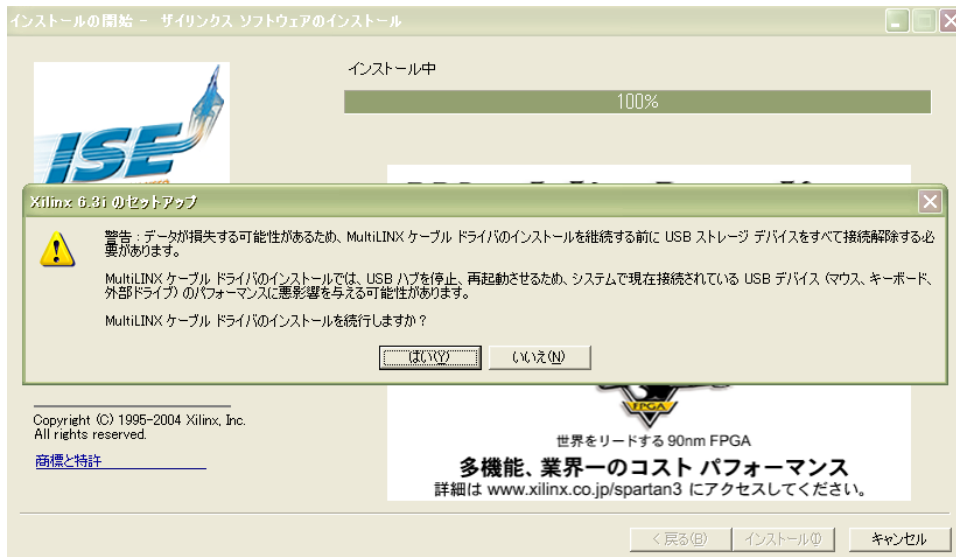


図 9: MultiLINUX ケーブルドライバの警告

- Java のインストールを促すダイアログ(図 10)が開く。最新情報を見る必要がなければ、”閉じる”ボタンをクリック。

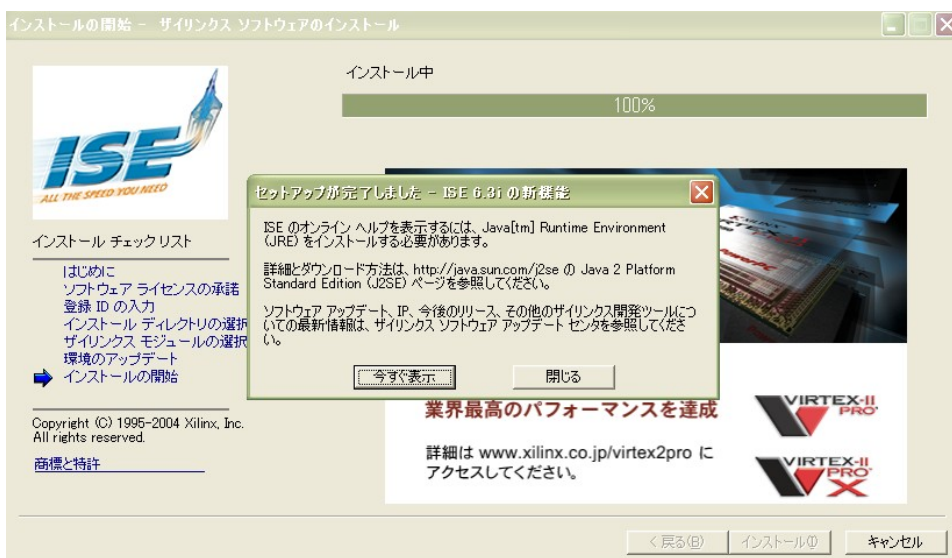


図 10: Java のインストールを促すダイアログ

- インストール完了画面(図 11)が出る。”OK”ボタンをクリック。



図 11: インストール完了画面

- 再起動を促すダイアログ(図 12)が開く。なるべく再起動したほうが良いので、“はい(Y)”ボタンをクリック。

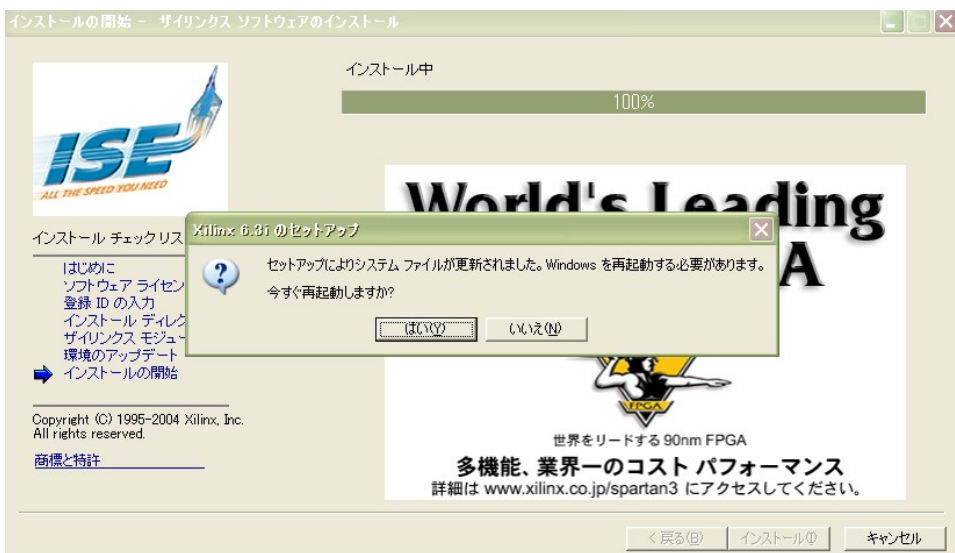


図 12: 再起動を促すダイアログ